

県民モニター 第1回アンケート調査 結果概要

1 調査概要

- (1) 調査テーマ：「災害に強い森づくり」
- (2) 調査対象者：県民モニター379名
(7月28日までの登録者)
- (3) 調査期間：平成17年7月29日(金)～8月8日(月)[11日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに記入
- (5) 回答者数：271名(回答率71.5%)

参考 - 対象者及び回答者属性

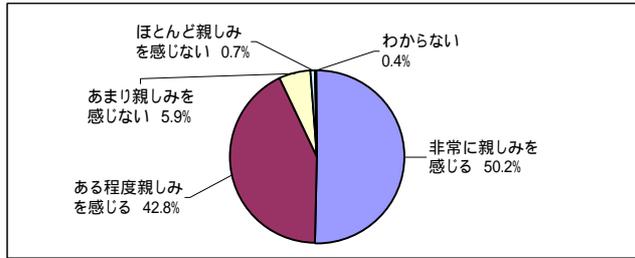
	対象者	回答者	回答率
総数	379	271	71.5%
(性別)			
男性	230	170	73.9%
女性	149	101	67.8%

2 調査結果

森についての考え

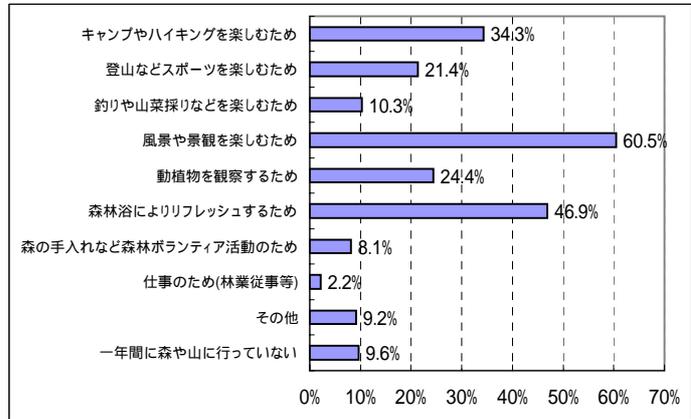
Q1 森に親しみを覚えるか(1つ選択)

- (1) 非常に親しみを覚える 50.2%
- (2) ある程度親しみを覚える 42.8%
- (3) あまり親しみを覚えない 5.9%
- (4) ほとんど親しみを覚えない 0.7%
- (5) わからない 0.4%



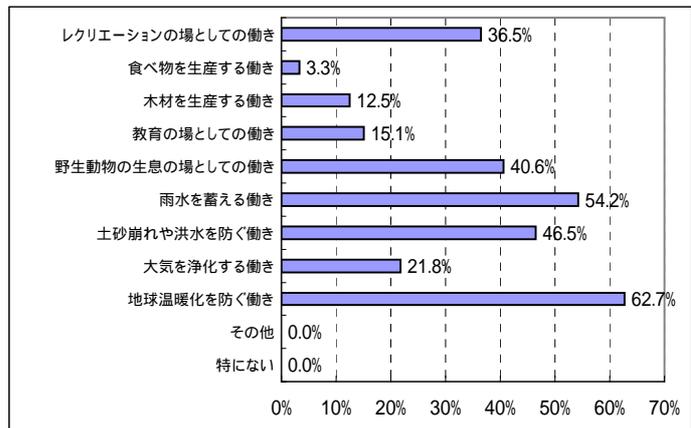
Q2 この1年間、どのような目的で山や森に行ったか(いくつでも選択)

- (1) キャンプやハイキングを楽しむため 34.3%
- (2) 登山などスポーツを楽しむため 21.4%
- (3) 釣りや山菜採りなどを楽しむため 10.3%
- (4) 風景や景観を楽しむため 60.5%
- (5) 動植物を観察するため 24.4%
- (6) 森林浴によりリフレッシュするため 46.9%
- (7) 森林の手入れなど、森林ボランティア活動のため 8.1%
- (8) 仕事のため(林業従事など) 2.2%
- (9) その他 9.2%
- (10) 一年間森や山に行っていない 9.6%



Q3 森の公益的機能で特に重要と思われるもの(3つ選択)

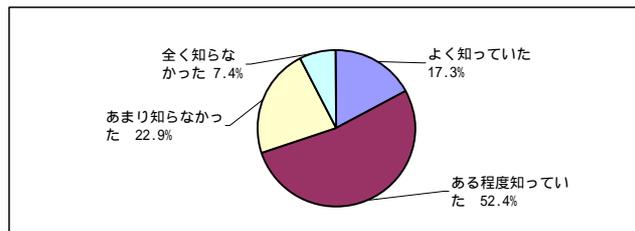
- (1) レクリエーションの場としての働き 36.5%
- (2) 食べ物を生産する働き 3.3%
- (3) 木材を生産する働き 12.5%
- (4) 教育の場としての働き 15.1%
- (5) 野生動物の生息の場としての働き 40.6%
- (6) 雨水を蓄える働き 54.2%
- (7) 土砂崩れや洪水を防ぐ働き 46.5%
- (8) 大気を浄化する働き 21.8%
- (9) 地球温暖化を防ぐ働き 62.7%
- (10) その他 0.0%
- (11) 特にない 0.0%



森と災害との関係

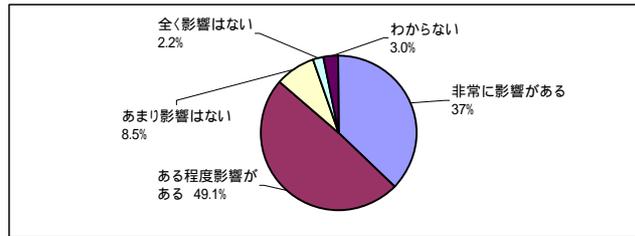
Q1 県内の森林の現状(台風被害等)を知っていたか(1つ選択)

- (1) よく知っていた 17.3%
- (2) ある程度知っていた 52.4%
- (3) あまり知らなかった 22.9%
- (4) 全く知らなかった 7.4%



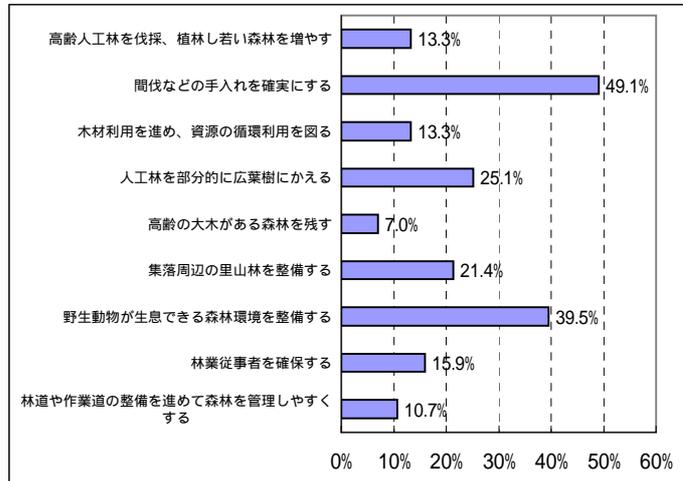
Q 2 森林の現状があなたの生活に影響を及ぼすか(1つ選択)

- (1) 非常に影響がある 37.3%
- (2) ある程度影響がある 49.1%
- (3) あまり影響はない 8.5%
- (4) 全く影響はない 2.2%
- (5) わからない 3.0%



Q 3 長期的な視点から災害に強い森づくりを行うために重要と思うこと(2つ選択)

- (1) 高齢人工林を伐採、植林し若い森林を増やす 13.3%
- (2) 間伐などの手入れを確実にする 49.1%
- (3) 木材利用を進め、資源の循環利用を図る 13.3%
- (4) 人工林を部分的に広葉樹にかえる 25.1%
- (5) 高齢の大木がある森林を残す 7.0%
- (6) 集落周辺の里山林を整備する 21.4%
- (7) 野生動物が息できる森林環境を整備する 39.5%
- (8) 林業従事者を確保する 15.9%
- (9) 林道や作業道の整備を進めて森林を管理しやすくする 10.7%



Q 4 Q3で挙げた以外の項目等(自由記入)

1 回答者の32.5%にあたる88人が記載

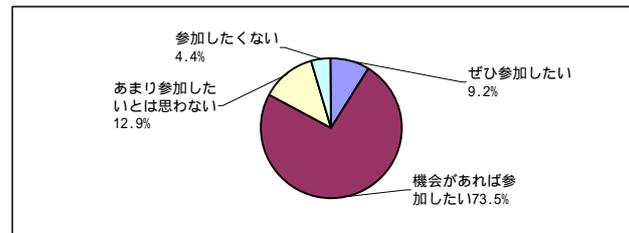
2 主な記載内容は以下のとおり

- (1) 森づくりの基本的な考え方や整備手法に関する意見 23件
- (2) 林業従事者の確保や木材の活用など林業振興に関する意見 19件
- (3) 子供への体験学習など普及啓発に関する意見 9件
- (4) 森林ボランティアの募集など県民参加に関する意見 9件
- (5) 開発の抑制や自然環境保全に関する意見 8件
- (6) 私有林への公的支援や公的管理に関する意見 5件

県民総参加の森づくり

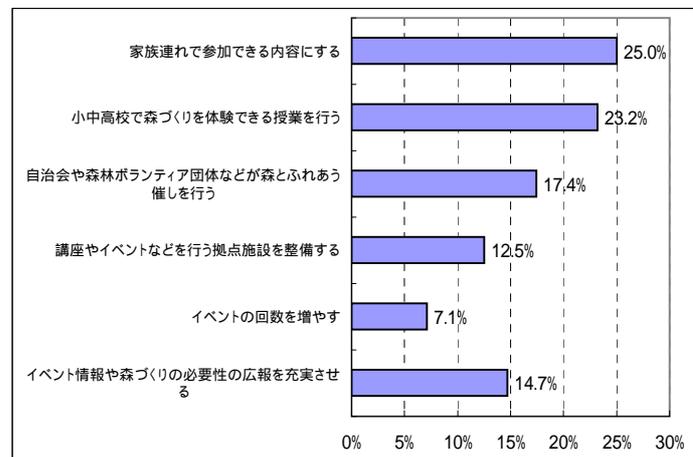
Q 1 森づくりに関する活動やイベントに参加したいか(1つ選択)

- (1) ぜひ参加したい 9.2%
- (2) 機会があれば参加したい 73.4%
- (3) あまり参加したいとは思わない 12.9%
- (4) 参加したくない 4.4%



Q 2 (Q1で(1)(2)回答者へ)森を守る活動等により多くの参加を得るため効果的と思うことは(1つ選択)

- (1) 家族連れで参加できる内容にする 25.0%
- (2) 小中高校で森づくりを体験できる授業を行う 23.2%
- (3) 自治会や森林ボランティア団体などが森とふれあう催しを行う 17.4%
- (4) 講座やイベントなどを行う拠点施設を整備する 12.5%
- (5) イベントの回数を増やす 7.1%
- (6) イベント情報や森づくりの必要性の広報を充実させる 14.7%



Q 3 Q2で挙げた以外の項目等(自由記入)

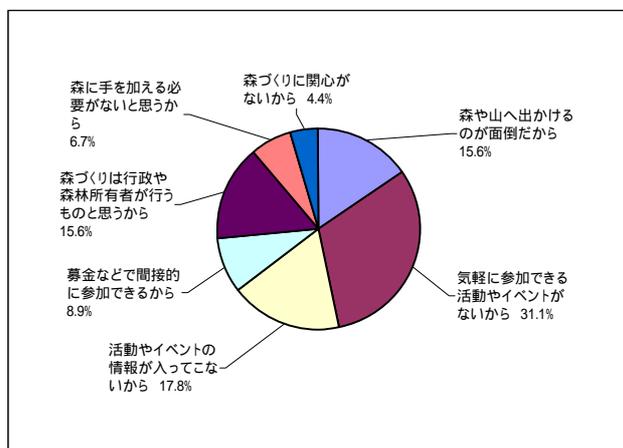
1 Q1で(1)(2)回答者の25.9%にあたる58人が記載

2 主な記載内容は以下のとおり

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) イベント等の内容や実施方法に関する意見 | 31件 |
| (2) イベント等の広報に関する意見 | 12件 |
| (3) 森づくりについての教育や体験学習に関する意見 | 8件 |

Q 4 (Q1で(3)(4)回答者へ)森を守る活動等に参加したくない理由(1つ選択)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| (1) 森や山へ出かけるのが面倒だから | 15.6% |
| (2) 気軽に参加できる活動やイベントがないから | 31.1% |
| (3) 活動やイベントの情報が入ってこないから | 17.8% |
| (4) 募金などで間接的に参加できるから | 8.9% |
| (5) 森づくりは行政や森林所有者が行うものと思うから | 15.6% |
| (6) 森に手を加える必要がないと思うから | 6.7% |
| (7) 森づくりに関心がないから | 4.4% |



Q 5 Q4で挙げた以外の項目等(自由記入)

1 Q1で(3)(4)回答者の40.4%にあたる19人が記載

2 主な記載内容は以下のとおり

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 仕事や子育てで時間がとれない | 6件 |
| (2) 体力面で不安がある | 4件 |

「県民緑税」の導入について

Q 県民緑税を活用した事業についての意見・提案

(県民緑税の用途及び制度概要資料を参照したうえ、自由記入)

1 回答者の66.1%にあたる179人が記載

2 記載内容(合計239件 複数項目の記載あり)を分類すると以下のとおり

(1) 県民緑税の趣旨や仕組みについて... 113件

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| ・ 県民緑税の趣旨への賛同や理解 | 42件 |
| ・ 緑の重要性や必要性、県民緑税の内容などへの県民理解を深めるべき | 32件 |
| ・ まず、現行予算配分の見直しや行財政改革に努めるべき | 27件 |
| ・ その他、負担の在り方などの意見・提案 | 12件 |

(2) 税を活用する事業内容について... 64件

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| ・ 長期的な事業計画が必要など、森林整備事業への意見・提案 | 37件 |
| ・ 都市緑化の推進やヒートアイランド対策など、都市の緑化事業への意見・提案 | 12件 |
| ・ その他、人材確保や雇用、災害の未然防止などの意見・提案 | 15件 |

(3) 税収の使い方や成果について... 62件

- | | |
|---------------------------|-----|
| ・ 税収を効果的に活用し、無駄遣いをしない | 36件 |
| ・ 税収の用途や成果が県民によくわかるようにすべき | 26件 |